



さくら市立氏家小学校 学校だより

5月号

氏小だより



大志ちゃん

令和6年5月15日発行

発行者 氏家小学校長

よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子

すべての子どもが輝く学校

授業参観お世話になりました ～おうちの方の応援は子どものエネルギー～

児童を毎日元気に送り出してくださり、ありがとうございます。進級後1か月、児童は新しい友達や担任にも次第に慣れて、充実した学校生活を送っています。

4月24日の授業参観では、保護者の皆様にお世話になりました。おうちの方に見ていただくということで、児童も張り切って授業に臨んでいました。学年懇談や保護者懇談等の折にいただいたご意見等を児童のよりよい指導のために、校内で共有していきます。また、子どもたちのがんばりをお伝えしていきますので、ぜひお家でも褒めていただければ幸いです。

今後とも子どもたちの応援団として、本校教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。



多くの保護者が参加



子どもの様子 ★学校には日々子どもの学びがあります★



握手で友達となかよし



一年生を案内する二年生



校庭の草花の観察

習字に全集中！



薬物乱用防止教育



命を守る避難訓練



なかよし班遊び・異学年交流



地区別児童会登録班打合せ

「地域とともにある学校」 ～学校は地域のもの～

学校に勤務していると、地域みなさんが、いかに子どもたちの成長を楽しみにしてくれているか、学校のことに心を配ってくれているかを実感します。地域子どもたちへの期待は、その成長を見守り支援して下さる様子から伝わってきます。つくづく「学校は地域のもの」と感じるこの頃です。地域の学校として児童の教育を行っていきたいと思います。

【パンジーの水抜き】

入学式の準備をしていると、地域の環境ボランティアのみなさんが、外で会場に飾るパンジーのプランターの水抜きをしてくださっていました。前日は大雨で、プランターにはたっぷりの水がたまってしまっていたのです。何十もあるプランターを自宅の軒先で水抜きしてくるからと、軽トラで移動してくださり、当日は見事に咲いたパンジーで1年生を迎えることができました。このようにたくさんの思いやりに支えられていることをお伝えしたいです。

【登下校の見守り】

朝、児童の登校に合わせて南、東、北のそれぞれの学校の入口であいさつをしていると、とても多くの保護者の皆さんや地域の方が児童の通学の見守りで一緒に歩いてくださっているのに出会います。細くて交通量の多い氏小学区では、子どもたちの登下校の安全が交通指導員さんや保護者の旗当番さん、地域の登下校ボランティアの皆さんなど、多くの皆さんによって守られているのを感じます。地域子どもたちを大切に思ってください、感謝でいっぱいになります。

【情報提供】

突風の吹くある日のこと、児童の下校経路にある家の樋が道路にかかって外れているとお電話をいただきました。その家の方はお留守で、お知らせくださった方は、近所の方だそうです。「子どもたちが帰る頃だと思って。」とのご配慮でした。早速、職員が現地に行き、児童の下校の安全確保を行いました。学校だけでは、学校の敷地外の危険を回避することは難しいと思います。このような情報提供は、本当にありがたく助かります。

学校運営協議会 5月14日(火)

学校運営協議会が開催されました。学校運営に地域の方も参画していただき、教育目標の達成に向けて、協働していくための組織です。子どもたちの授業の様子を見ていただいたり、テーマに沿って熟議をしていただいたりしました。



【学校運営協議会委員】

小堀 良一 様	金子 立 様
荒川 明英 様	佐藤 直道 様
君嶋 敦子 様	手塚 和久 様
滝口 尚子 様	鈴木 左夕 様
石川 博 様	



「年間お世話になります」

あいさつ巡回運動 5月8日(水)

今年度第1回目のあいさつ巡回運動が行われました。青少年センターや地域の皆様が早朝から参加し、児童とあいさつを交わしてくださいました。「あいさつが響き合う学校」になるよう

㊦かるく ㊩つでも ㊤きに ㊩づけて

を合い言葉にしていきたいと思います。



校長室の窓から

満開の桜のふもとに 集まろう

見守る大樹 大志だけと

今年の氏小の大志桜は、入学式に照準を合わせたかのように満開を迎えました。「待つてました。」と、桜が言ったかどうかはわかりませんが、のびのびと広がった枝に、鈴なりの見事な花ぶりで、しばし見とれてしまいました。この桜を大好きな人が多い理由がわかりました。

毎春校庭を彩る上品な薄ピンクの桜の花と青空のコントラストは、本校の子どもたちにとって、自分たちの母校の四季の風景の一部になっているようです。「本当に、立派な桜だね。」と言うと、「うん、すごいでしょ。」と、当たり前というように答えます。休み時間は、桜の下で鬼ごっこやボール遊びに興じ、放課後は学童保育の子が根本にある平均台を楽しむ姿が見られます。あたりまえの景色の中に大老の大志桜があることが、実は特別なことだったと、子どもたちは後に感じるのかもしれない。

年に一度しか咲かない桜の花。見られるのは、自分の年齢の数と同じ回数だけです。ひと春ひと春、大志桜とともに過ごした分だけ、児童は成長していきます。

大志桜によせて

令和六年春

